

管理型最終処分場の跡地利用の例

ダイユウ技研土木株式会社

A処分場

- ・中学校のグラウンド拡張を目的に護岸を築造した後予算の関係で放置されていた。ここを廃棄物で造成し初期の目的を達成したいと町より相談を受け事業がスタートした。

- ・埋立期間 S58/4～S58/9

- ・埋立廃棄物量及び廃棄物の種類

139, 000m³(約200, 000トン)

燃えがら(石炭灰)55. 2%

鉋さい 44. 8%

- ・安全性の確保

- ①埋立終了後5年間、1回/年のボーリング調査

- ②周辺の井戸水の調査(飲料水7本、野井戸12本) 1回/月

- ③浸出水、処理水の調査 1回/月

中学校グランド



体育館

テニスコート

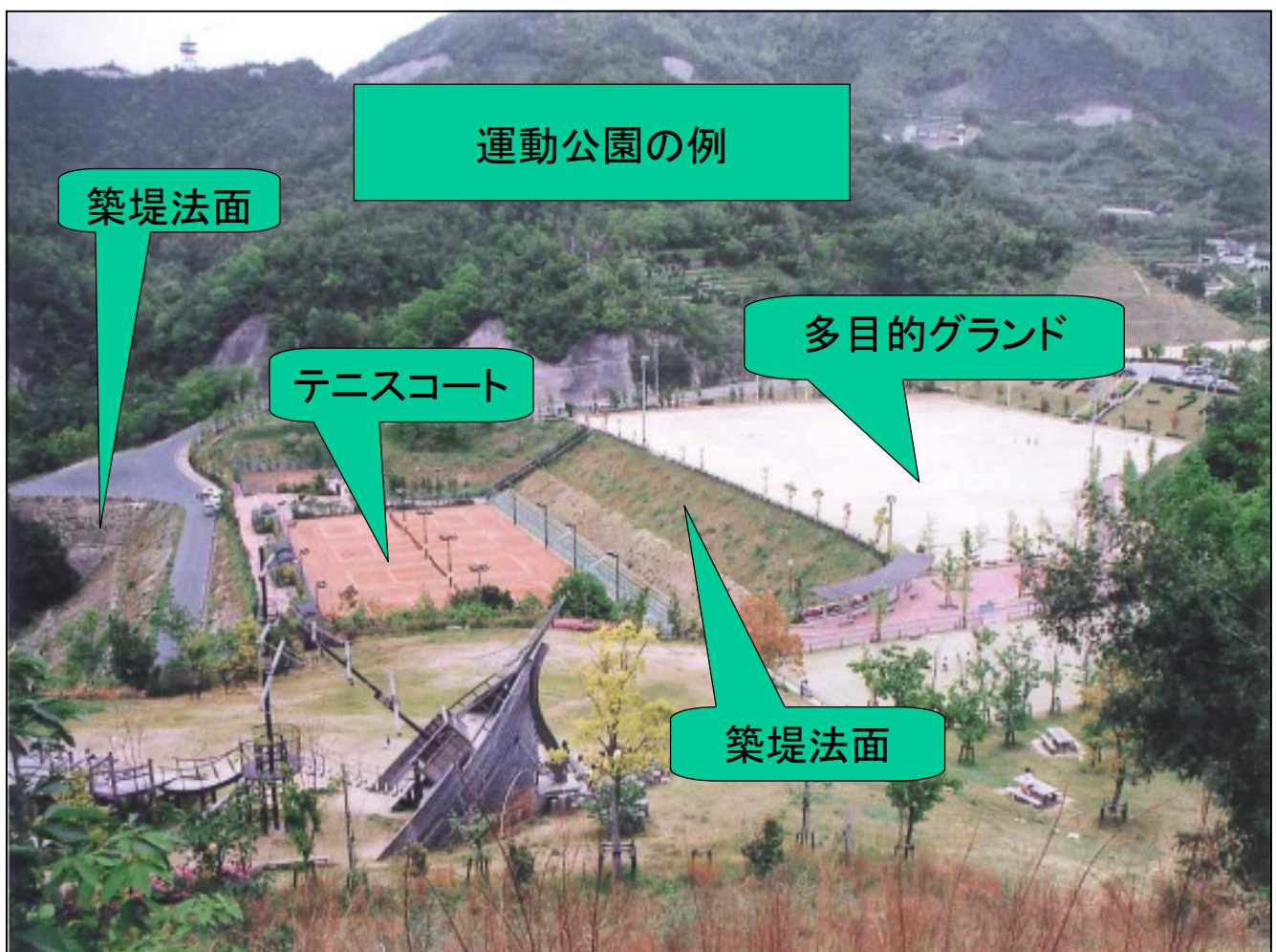
グランド



B処分場

- ・ スポーツの盛んな地域がら総合グラウンドの整備が町民から望まれていた。地元世話人の仲介により、町所有地を廃棄物で造成し、上物を町が整備するという事業形態が成立した。
- ・ 埋立期間 S60/3～S63/4
- ・ 埋立廃棄物量及び廃棄物の種類
346,000 m³(約480,000 トン)

燃えがら(石炭灰)	10.5%
ばいじん	48.8%
鉋さい	38.5%
汚泥(臭いのないもの)	2.2%
- ・ 安全性の確保
 - ①浸出水、処理水、地下水の調査 1回/月
 - ②環境現況調査 海域、河川、浸出水、処理水、地下水、井戸水 1回/年
 - ③施設の定期監視 異常があればすみやかに対応





C処分場

- 元々海面より低い強湿田の上、台風による高潮被害が重なり、ほとんど耕作が出来ない土地を農地改良事業で再生したいとの意向が地元から有り、廃棄物で嵩上げた後1.5mの覆土をして農地とした。
- 埋立期間 S58/12～S60/1 廃止H15/3
- 埋立廃棄物量及び廃棄物の種類

147,000m³(約168,400トン)

燃えがら(石炭灰) 4.8%

ばいじん 22.1%

鉍さい 49.2%

汚泥 10.3%

その他 13.7%

- 安全性の確保

①浸出水、処理水の水質調査 1回/月

②ボーリング調査 1回/年

③周辺井戸水の調査 1回/月

④環境現況調査 1回/年

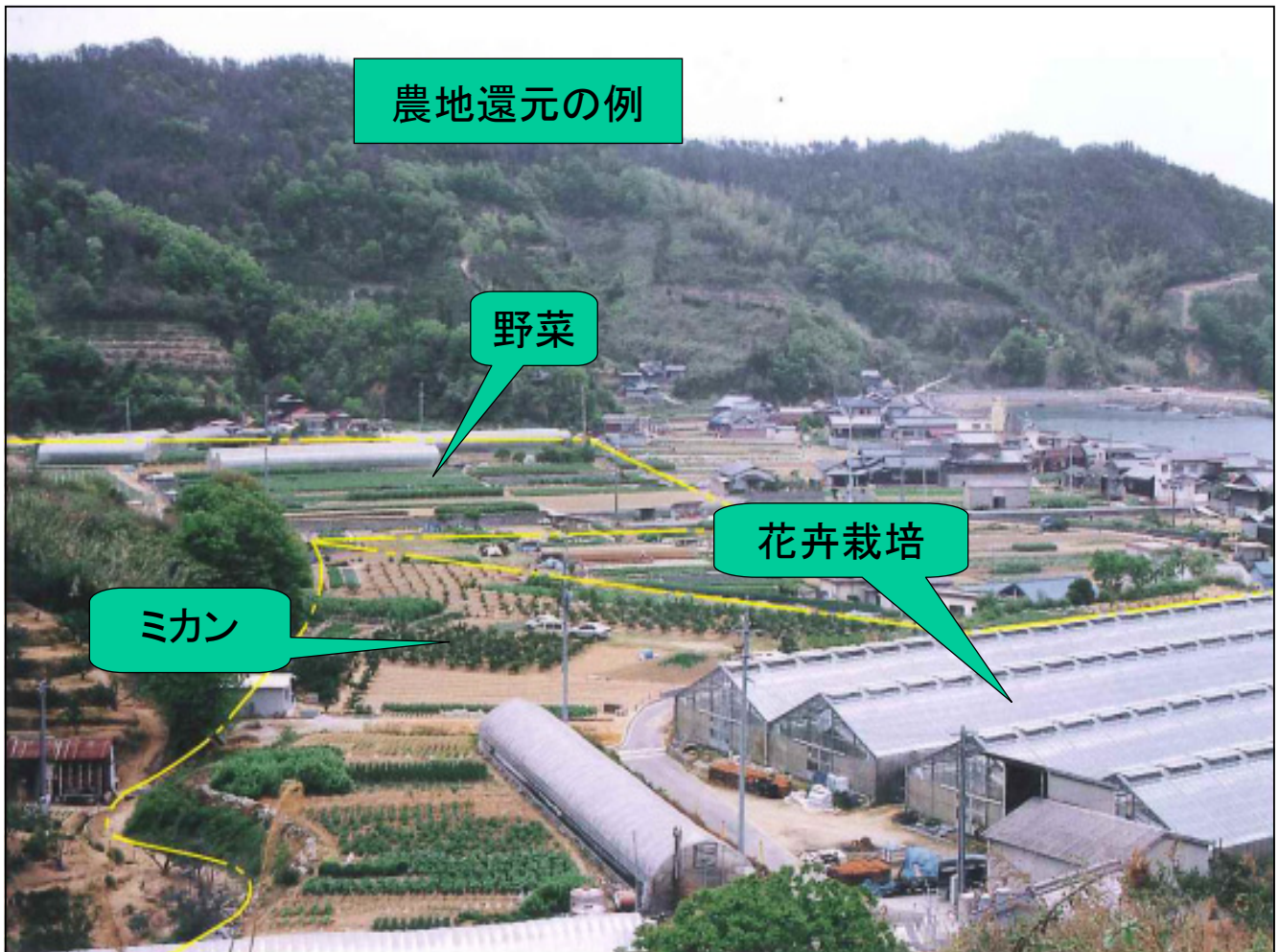
浸出水、処理水、周辺井戸水、河川

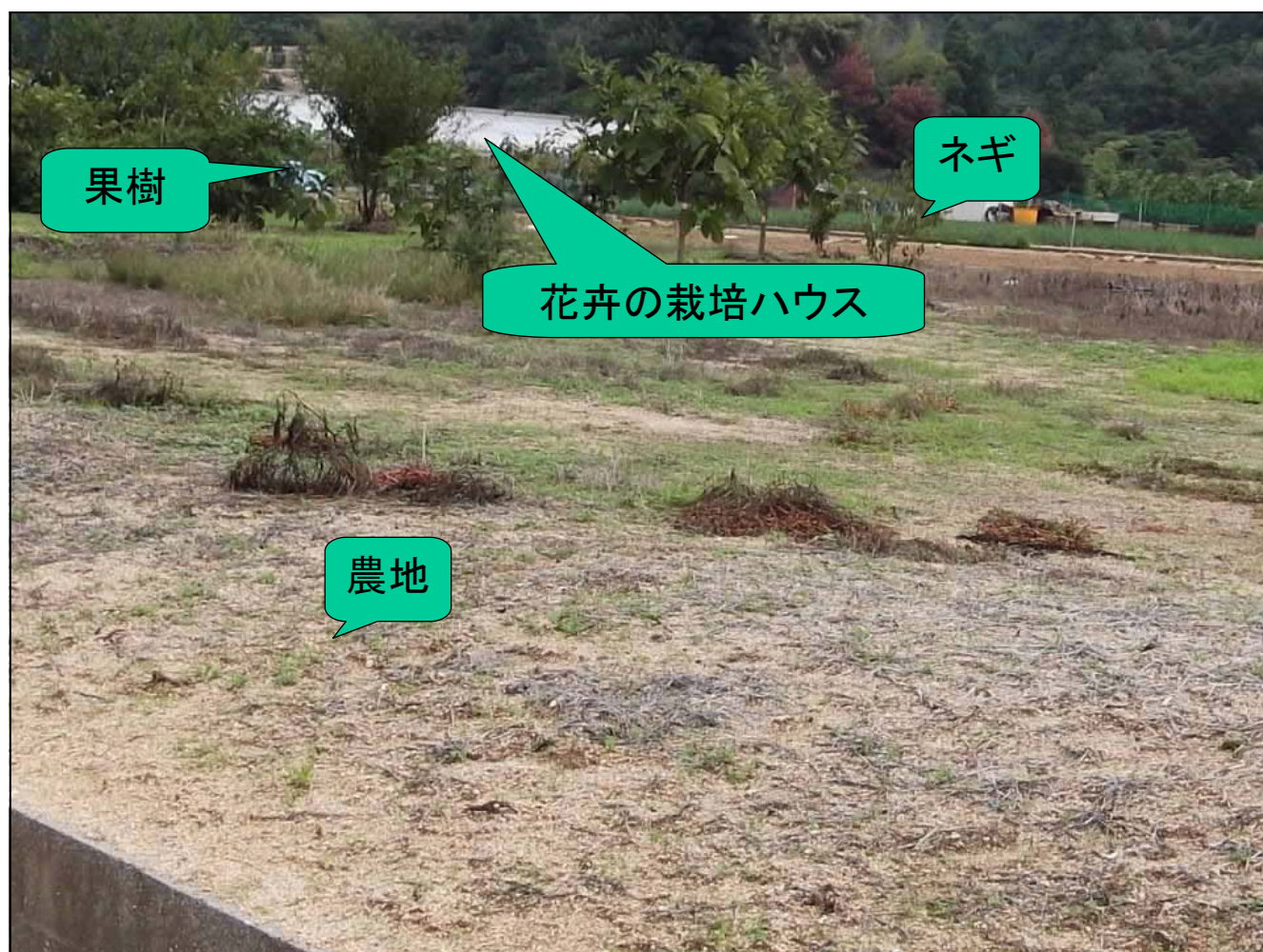
農地還元の例

野菜

花卉栽培

ミカン





D処分場

- ・採石用地として土地買収した。採石跡地を処分場に造成。町との協定で、処分場平地部分を農地として20年間町に賃貸すると定めた。(町の地域振興政策の一環)

このことが実行できるような構造とした。

- ・埋立期間 H5/10～H14/6

- ・埋立廃棄物量及び廃棄物の種類

1, 613, 000m³(約2, 912, 000トン)

燃えがら	10. 6%
ばいじん	16. 2%
汚泥	30. 1%
鉋さい	22. 7%
がれき類	11. 8%
その他	8. 6%

- 安全性の確保

①浸出水、処理水、地下水の水質調査 1回/月

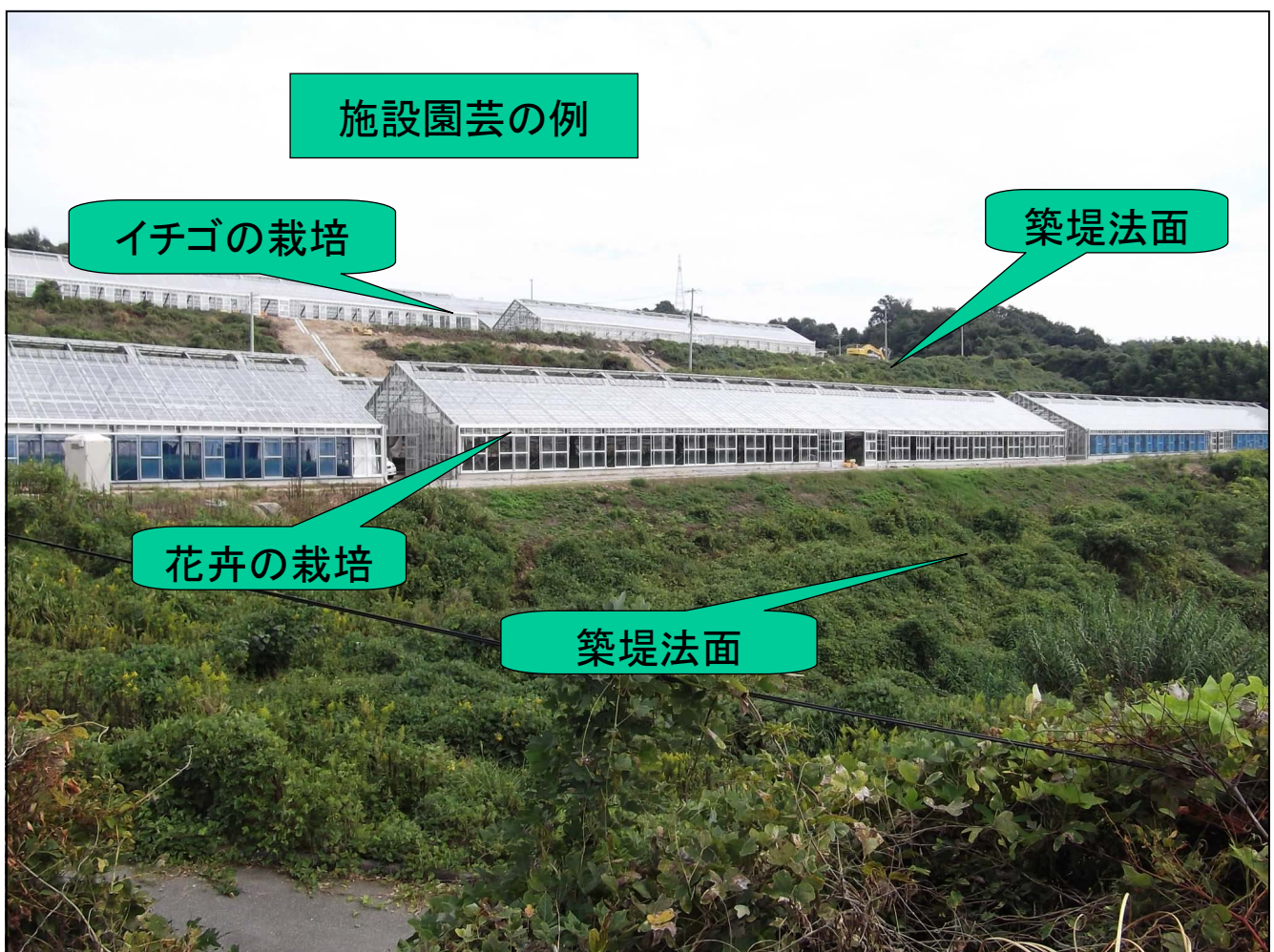
②環境現況調査 1回/年

浸出水、処理水、地下水、河川、海域

③発生ガスの調査 2回/年

④施設の定期監視、沈下量測定

⑤施設園芸に使用する農薬類の限定



埋立終了後の環境管理				
	A処分場	B処分場	C処分場	D処分場
浸出水	5年間1回/月pH、COD、	1回/月 pH、COD、B	1回/年 pH、COD、B、T-N、T-P、有害9項目	1回/月 pH、COD、Cl ⁻ 、B、T-N、T-P、F
	2回/年pH、COD、有害重金属	4回/年 上記+有害重金属、Cu、Zn、Sol-Fe、Sol-Mn	1回/年 排水基準項目	4回/年上記+Cu、Zn、Sol-Fe、Sol-Mn、Cd、Pb、Cr6+、As、T-Hg、Se
		2回/年 排水基準項目		2回/年 排水基準項目
処理水	5年間1回/月pH、COD、SS	1回/月 pH、COD、BOD、SS	監督官庁と協議の結果、S63/11 水処理施設を撤去	1回/月 pH、COD、SS、BO D、T-N、T-P、F
	2回/年pH、COD、SS、有害重金属	4回/年 上記+有害重金属	したがって、処理水は無し	4回/年上記+Cu、Zn、Sol-Fe、Sol-Mn、Cd、Pb、Cr6+、As、T-Hg、Se
		2回/年 排水基準項目	(埋立終了後S63/10までは実施)	2回/年排水基準項目
		1回/年 DXNs		1回/年DXNs
地下水	なし	1回/月pH、Cl ⁻ 、B	なし	1回/月pH、Cl ⁻ 、B
		2回/年地下水環境基準項目		2回/年 地下水環境基準項目
井戸水	周辺井戸(生活用水)7本、野井戸12本について1回/月 水質検査	処分場下流に位置する井戸(生活用水)について1回/月水質検査	野井戸3本、共同井戸(生活用水)1本について1回/月水質検査	なし
	周辺井戸: 1回/月 pH、KMnO4消費量、1回/年 飲適検査	1回/月: pH、Cl ⁻ 、B	1回/月: pH、Cl ⁻ 、B	
	野井戸 1回/月 pH、COD、Cl ⁻	1回/年: 水道法に定める水質基準項目	1回/年: pH、Cl ⁻ 、B、有害9項目	
環境現況調査	埋立終了後5年間、毎年ボーリングを実施しボーリングコアの溶出試験を実施	1回/年 浸出水、処理水、地下水、井戸水、河川(水質、底質)、海域(水質、底質)の調査	1回/年 浸出水、井戸水、河川(水質、底質)、土壌、植生の調査	1回/年 浸出水、処理水、地下水、河川(水質、底質)、海域(水質、底質、魚)、発生ガス(2回/年)の調査
			1回/年 ボーリング調査	
廃止or閉鎖	埋立終了後5年を経過した時点で閉鎖	維持管理中	H15/3廃止(埋立終了後18年)	維持管理中